

2020

8-9月

はしかけニューズレター

2020年度 第3号 通巻154号

2020年(令和2年)8月1日発行

編集・発行: 滋賀県立琵琶湖博物館 交流担当 (はしかけ担当職員: 中川・八尋)

住所: 〒525-0001 滋賀県草津市下物町 1091 電話: 077-568-4811 ファックス: 077-568-4850

電子メール: hashi-adm@biwahaku.jp 琵琶湖博物館ホームページ: <https://www.biwahaku.jp>

(注意) 平成30年11月よりHPアドレスが変更になっています。

～ 目次 ～

1. 事務局からのお知らせ

2. はしかけグループの活動報告と活動予定

- (1) うおの会 (2) 近江 巡礼の歴史勉強会 (3) 淡海スケッチの会
(4) 近江はたおり探検隊 (5) 大津の岩石調査隊 (6) 温故写新
(7) 暮らしをつづる会 (8) 古琵琶湖発掘調査隊 (9) 湖(こ)をつなぐ会 (10) ザ! ディスカバはしかけ
(11) 里山の会 (12) 植物観察の会 (13) たんさいぼうの会 (14) 田んぼの生き物調査グループ
(15) タンポポ調査はしかけ (16) ちっちゃなこどもの自然あそび(ちこあそ) (17) 琵琶湖の小さな生き物を観察する会
(18) びわたん (19) ほねほねくらぶ (20) 緑のくすり箱 (21) 虫架け (22) 森人 (23) 琵琶湖梁山泊
(24) サロン de 湖流 (25) 水と暮らし研究会 (26) 海浜植物守りたい

3. 生活実験工房からのお知らせ

4. その他の事項

会員数 … 340人

グループ数 26グループ

(2020年8月1日現在)

1. 事務局からのお知らせ

盛夏の候、はしかけ会員の皆様におかれましては、いよいよ活動を再開され始めたこと、お喜び申し上げます。

今月のニューズレターでは、皆様の生き生きした記事や写真をお見受けすることができ、大変嬉しく思います。皆様のワクワク感が伝わってくるようです。

反面、新型コロナウイルス感染症に関する状況は日々刻々と変化し、予断を許さない状況です。皆様におかれましては、今後とも対策を入念に行って活動して頂くとともに、「体調がすぐれない方は無理して参加しない」などの声かけもお願い致します。

さて、事務局より以下2点の連絡がございます。

■びわ博フェスについて

本年度のびわ博フェスについては中止となります。楽しみにして下さっていた方もいらっしゃると思いますが、社会情勢を鑑み苦渋の決断となりました。誠に残念です。新型コロナウイルス感染症が収束したあと皆様と盛大に催せることを楽しみにしております。

■はしかけ活動に伴う展示室の入室方法について

はしかけ活動の一環として展示室に入室される場合には、入室方法を以下の通りとさせていただきます。今後ともご留意ください。

(1) はしかけグループで入室される場合

グループ代表者または担当学芸員の指示に従い入室ください。なお、入室の際は**名札着用**のうえ、**職員通用口**で記名し、**書庫口前**を通過して展示室へお入りください。また、退室時も職員通用口、書庫口前をご利用ください。

(2) 個人で入室する場合

名札着用のうえ**職員通用口**で記名し、**書庫口前**を通過して展示室へお入りください。退室時も職員通用口、書庫口前をご利用ください。事前の連絡は不要です。

なお、はしかけに関する活動とは関係なく展示室に入られる場合は、一般来館者と同様にチケットを購入後に正面エントランスより入室していただきますようお願い致します。このとき、新型コロナウイルス感染防止対策のため、整理券により入館人数を制限している場合がございます。その際には整理券を受領後、順番を待って入室していただきますようお願い致します。何卒ご理解ご協力のほどよろしくお願い致します。

(中川 信次)

2. はしかけグループの活動報告と活動予定



(1) うおの会

【活動報告日の活動会員数(のべ) 24名】

グループ代表アドレス: hashi-uonokai@biwahaku.jp

グループ担当職員: 松田 征也

【活動報告】

■5月30日(土)瀬田川釣り調査 場所:瀬田川(洗堰上流) 参加者:5名

今年度初のうおの会活動は定例調査では無く、瀬田川で増加しているというチャネルキャットフィッシュが釣れるのかどうか、やってみようという活動です。

集合前、夕立のような豪雨!ひとまず平和堂に避難し、釣り餌のサバ切り身、自分用の餌を購入。やがて雨も止み、暗くなる頃からミミズやサバの切り身を餌に、ぶっこみ釣り開始です。19時半ごろ、澤田さんがギギを釣り、しばらくあとに私に在来種のほうのナマズが。中村さんはブルーギルを何尾かあげています。

この日は瀬田川洗堰放流量が多く、仕掛けが流されて釣り辛い状況でしたが、熊木さんにナマズ、私にギギ、澤田さんにニゴイなど色々な魚が釣れました。時折ゲンジボタルが 明滅しながら飛来し、皆さんの目を楽しませていました。近くの千丈川から飛んでくるのでしょうか。

やがて22時となり、終了。結局、本命(?)のチャネルキャットフィッシュは釣れませんでした。途中、話をした釣りは、以前ここでチャネルキャットフィッシュが釣れるのを見たそうです。簡単に釣れるほどは多くないようですが、確実に増えていそうです。

今回の一番の収穫は、瀬田川のギギが、まだ普通に釣れる程度はいる、と確かめられた点かも知れません。今後、万が一チャネルキャットフィッシュが激増してしまうと、ギギの生息は厳しそうです。

夜風に吹かれ、竿先を見つめながらぼーっとしたり、魚の話をしたりするのも良いもので、楽しい時間でした。

(報告:中尾博行)

■6月21日(日)第151回定例調査 場所:大戸川(信楽周辺) 参加者:19名

新型コロナウイルス感染防止対策のため3月の総会、4・5月の定例調査が中止となり、この日が定例調査としては本年度最初の活動となりました。当初は高島市の淡海湖周辺の調査を予定していましたが、工事が実施されていて立ち入り禁止になっているとの情報が入り、急遽4月の予定地であった信楽方面に変更しました。

数日来的雨もやみ、気温も25℃くらいと、心地よい調査日和となりました。久しぶりの定例調査で会員間の話も弾み、楽しい調査でした。調査地点は大戸川、信楽川とその支流の各河川で、信楽高原と言うこともあって水温は18℃前後と低く、水に入るとひんやりと心地よかったです。見つかった魚はおなじみのヨシノボリ、ドンコ、タカハヤ等々、10種類ほどでした。

(報告:水戸基博)

【活動予定】

■8月は定例調査はありません。8月末に2回目の瀬田川での釣り調査を計画しています。詳細はメールにて連絡します。



ドンコ、シマドジョウ類、
トノサマガエル(?)のおたまじゃくし



信楽川での調査



瀬田川のギギ



(2) 近江 巡礼の歴史勉強会

【活動報告日の活動会員数(のべ) 1名】

グループ代表アドレス: hashi-junrei-rekishi@biwahaku.jp

グループ担当職員: 橋本 道範・渡部 圭一

【活動報告】

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で活動を休止しています。

【活動予定】

蓄積データの編集などの作業を中心にして今後の活動計画を見直す。

(福野憲二)

*この活動に興味のある方は、上記メールアドレスにてご連絡ください。



(3) 淡海スケッチの会

【活動報告日の活動会員数(のべ) 8名】

グループ代表アドレス: hashi-sketch@biwahaku.jp

グループ担当職員: 榎永 一宏

【活動報告】

■6月28日(日) 琵琶湖博物館にてスケッチ (6名)

■7月19日(日) 琵琶湖博物館にてスケッチ (2名)

大山椒魚のクロッキー及び水族展示室での句作

【活動予定】

■8月23日(日)

琵琶湖博物館にて活動予定。

10時30分 職員通用口付近に集合。

スケッチの道具、飲み物をご持参ください。

(マスク着用のこと)

■9月27日(日)

近江八幡市の牧場へ馬を見に行きます。

賀茂神社裏手に10時30分集合。

少雨決行

*判断に迷う場合は、お問い合わせください。

※初めて参加される方は080-5709-8634(金山)までご連絡ください。



(4) 近江はたおり探検隊

【活動報告日の活動会員数(のべ) 11名】

グループ代表アドレス: hashi-oumihataori@biwahaku.jp

グループ担当職員: 渡部 圭一

【活動報告】

織姫の会

■5月27日(水) 活動中止

■6月6日(土)(参加者:7名)

3ヶ月ぶりに活動を再開しました。久しぶりに大勢集まったので、近況報告から。

作業は中断していたスカリ作り。苧績みした麻を使って作りましたが、買った糸より硬く、太さが一定でないので結びにくく、作るのに苦労しました。

■6月24日(水)(参加者:2名)

各自の作業。綿の糸紡ぎ、苧麻の苧績み。

■7月4日(土)(参加者:2名)

各自の作業。機織り、糸紡ぎなど。糸を作り、9月以降に藍染に行く予定。

【活動予定】

■織姫の会

7月22日(水)、9月12日(土)、30日(水)、10月10日(土)、28日(水)、11月11日(水)、28日(土)
12月12日(土) わくたん共催「綿に触れてみよう」
(8月はお休みです)

■藍染

9月から10月くらいに藍染に行きます。夏休みの間に染めるものを作っておいてね。

(辻川智代)



(5) 大津の岩石調査隊

【活動報告日の活動会員数(のべ) 一名】

グループ代表アドレス: hashi-ganseki@biwahaku.jp

グループ担当職員: 里口 保文

【活動報告】

■2020年6月の活動

・2020年6月20日(土)「近江八幡市・織山南部の地質調査」(参加者11名) 快晴爽快

(1) 調査の狙い

- ①溶結凝灰岩の代表的な山である近江八幡市の織山のふもことから、観音正寺までの岩石の調査と採取を行い、その産状と分布を把握すること。
- ②昨年12月に調査した多賀町の岩石との比較をし、流紋岩類のより広範囲な知識を得ること。
- ③じっくり自分の目で岩石や露頭を見て、楽しく野外観察をしたい。

(2) 調査の概要

織山の地質はKWで表示され、その内容はデイサイト、流紋岩大規模火砕岩である。滋賀県の山は複雑な地質からなることが多い。今回の起案者の中村さんご家族は多くの地質を調べている。KWのみで表示されている場所でも複雑な山であるとしてその調査の実施を提案した。メンバーの中には単純な地質の山と想像して出かけた人もいたが、実は複雑なことが分かった。要すれば、大規模火砕岩、しかも太古の大規模火砕流の山は岩石の風化も考えると複雑であり本格的に勉強するのも面白い山である。以下、ポイントを下記する。

- ①黎明の里:大きく不思議な岩が点在していた。溶結凝灰岩と見られる岩石にチャートがいくつか取り込まれており、大きいものは3.5cmほどあった。地質図から見るとチャートは見当たらない。どのような機構で捕獲されたのか、疑問が湧いた。溶結凝灰岩と見られる岩石が石段に使われていたが、所々に花崗斑岩と見られるものが含まれていて、不思議に思いました。この織山のどこかに花崗斑岩があるのか探してみたいなと思いました。
- ②料金所から観音正寺までの露頭:風化してボロボロになっている岩、しっかりとした硬い岩の露頭と、さまざまです。垂直に節理になっている所もありましたが、垂直方向と水平方向の両方の節理の露頭が多かったです。幾つかの岩石を割って見たところ、細かい白い粒と黄色い粒が入っており全部似たような石に見えました。また、外側は風化していて中央部分が風化していない所が残っている岩石もあって、風化の勉強になりました。また、岩石を割ってみるの意味が分かりました。
- ③奥ノ院の巨石:大きいものは5mくらいある石が多くあり、圧倒されるくらいの景色に感じました。岩石を詳細に観察したところ、緑色っぽい本質レンズも見られました。また白い粒が多く目立ちました。大き目の黒い石を取り込んでいる石もありました。
- ④織山の南部と北部の違い:今回は暑さ対策も考え、南部のみの調査をした。南北では岩種も異なるし産状も異なることが分かった。里口氏からは、こうした山ができるまでには何度も異なった溶岩の噴出を繰り返した結果との話を聞いて納得した。
- ⑤企画者の中村さんの今回の調査の感想:今回は新型コロナによる休館後の最初の野外調査です。コロナ対策はもとより、暑さでの熱中症対策の心配もあり、一時期は今回の野外調査は無理かもしれないと思われました。顧問の中野特別の事前調査、隊長、北野さん等が作ってくださった行野外調査行動の指標をもとに、無事に開催することができました。予定だった深谷散策道が行けなかったのが残念でした。

暑さ対策も考え、下見とは異なる場所もありました。織山は地質図ではKWのみです。しかし、大規模火砕流の複雑さの一端が分かり久しぶりに行った岩石の野外調査は実に面白かった。また、メンバーに植物をよく知っている方がおられ、植物の勉強もでき、面白さが倍増しました。今後も体力維持向上に励み、より充実したものになりたいと思います。皆さん、中村さんご家族さん、大変有難うございました。

■2020年7月の活動予定

下記の通り実施します。

- ・日時 2020.07.25(SAT) 13:00 - 16:00 後かたづけも含め16:00時には終える。
- ・場所 琵琶湖博物館・第1実習室
- ・実施の内容
 - (1) 琵琶湖コールドロンと、諸岩石の講話と、質問、討論など
 - A. 中野さんに、15分ほど講話
 - B. 中村さん親子から、八尾山や織山のお話
噴火、諸々の岩石等について質問、討議を行う。
 - C. 最近、見つけた調べたけれど分からない石、見てほしい石、討論
話題と石を見せていただける方はデジカメで撮影。
当日、PCで拡大して皆さんと議論したい。大人のデジカバリーは使用できないため
 - (2) 今後の計画等（梅澤より）

*注意：コロナ対策のため、マスクの着用をお願いします。その他、幾つかのお願いがあるかもしれません。



(6) 温故写新

【活動報告日の活動会員数(のべ) 一 名】

グループ代表アドレス: hashi-onkosyasin@biwahaku.jp

グループ担当職員: 金尾 滋史

【活動報告】

5月よりメーリングリストを開設して、少しずつですが皆さんが撮影された写真を投稿して情報交換をしています。7月に入り、ようやく集まる機会を設けることができました。

今年度はみんなで移動してお出かけ撮影会も厳しいかもしれませんので、なるべく現地集合に近いかたちの撮影などを予定しています。

【活動予定】

■7月25日(土) 10:00 博物館実習室2

今年度の活動計画について



(7) 暮らしをつづる会

【活動報告日の活動会員数(のべ) 一 名】

グループ代表アドレス: hashi-kurashi@biwahaku.jp

グループ担当職員: 渡部 圭一

【活動報告】 活動はありませんでした。

【活動予定】 未定です。



(8) 古琵琶湖発掘調査隊

【活動報告日の活動会員数(のべ) 24 名】

グループ代表アドレス: hashi-hakkutsu@biwahaku.jp

グループ担当職員: 山川 千代美

【活動報告】

■多賀の発掘現場の土から微小な化石を探す作業

①日時: 2020年6月11日(木) 13:00~15:30

場所: 琵琶湖博物館 実習室1 参加者: 4名

活動内容: 多賀の発掘現場で採取した土を丁寧に小割りして顕微鏡で観察し、微小な化石を探す作業を行いました。新型コロナウイルスの影響でしばらく活動を自粛せざるをえなかったのですが、久しぶりに活動を再開することができ、メンバー達は普段にも増して集中して作業に取り組みました。活動自粛期間中、それぞれがゆっくり充電して考えることができた為、作業の合間には、今後の活動の方針やアイデアなどについて多くの意見や提案が出ました。また、活動自粛期間中に自主的に興味を持って勉強した内容について、説明してくれたメンバーもいました。

上記のように、活動再開後は、メンバー同士が協力して活動に関わっていくという流れもできつつあり、今後の活動

に向けて良い形でスタートすることができました。ただ、活動時における新型コロナウイルス対策に加え、今までとは違う形での活動も模索していかなければならない状況と思います。

②日時：2020年6月27日(土) 13:00~15:30

場所：琵琶湖博物館 実習室1 参加者：5名

活動内容：多賀の発掘現場で採取した土を丁寧に小割りして顕微鏡で観察し、微小な化石を探す作業を行いました。

微小な化石を探す作業は平日に活動することが多いのですが、今回は土曜日に実施した為、普段参加できないメンバーも活動に参加することができ、とても楽しい活動となりました。おすすめの本を持ってきて、内容について他のメンバーに紹介してくれたメンバーもいました。そのことがきっかけになり、それぞれが今までに勉強してきたことや経験してきたことについて、情報交換を行うことができました。今後もこのような形で、各自が勉強したことや調査していることについて、気軽に他のメンバーに発表できる場を設けたらどうかという意見も出ました。



③日時：2020年6月30日(火) 13:00~15:30

場所：琵琶湖博物館 実習室1 参加者：2名

活動内容：多賀の発掘現場で採取した土を丁寧に小割りしたり水洗したりして、顕微鏡で観察し、微小な化石を探す作業を行いました。

④日時：2020年7月18日(土) 13:00~15:30

場所：琵琶湖博物館 実習室1 参加者：5名

活動内容：この日も、多賀の発掘現場で採取した土を丁寧に小割りしたり水洗したりして、顕微鏡で観察し、微小な化石を探す作業を行いました。

■古琵琶湖発掘調査隊 総会

日時：2020年7月19日(日) 13:00~15:40

場所：琵琶湖博物館 セミナー室 参加者：8名

活動内容：新型コロナウイルスの影響で開催が遅れていた総会を行いました。今後の活動に向け、多くの議案について話し合うことができました。

また、先日、多賀町古代ゾウ発掘プロジェクト事務局さんから、古琵琶湖発掘調査隊も第一次発掘調査から参加している『多賀町古代ゾウ発掘プロジェクト』についても掲載されている本『多賀はゾウの里だぞう』（多賀町立博物館 編）を発掘調査に参加したメンバーにいただきましたので、総会に参加していたメンバー達に配布しました。

古琵琶湖発掘調査隊の活動についても掲載していただいております、メンバー達はページをめくりながらとても喜んでいました。

【活動予定】

■多賀の発掘現場の土から微小な化石を探す作業

日時：2020年7月26日(日) 13:30~15:30

場所：琵琶湖博物館 実習室1



(9) 湖(こ)をつなぐ会

【活動報告日の活動会員数(のべ) — 名】

グループ代表アドレス: hashi-ko-tunagu@lbawahaku.jp

グループ担当職員: 林 竜馬

【活動報告】

■ 活動なし。博物館は開館したが、館内への入場数を制限している状況なので、子どもたちを集めての紙芝居の上演や合唱は自粛している。この間に、新しい紙芝居の原案作成などに掛かればよかったらよいと考えている。

【活動予定】

■ 未定



(10) ザ! ディスカバはしかけ

【活動報告日の活動会員数(のべ) 1名】

グループ代表アドレス: hashi-discov@biwahaku.jp

グループ担当職員: 妹尾裕介、大槻達郎

大雨の多い7月となりましたが、大暑は過ぎ、季節は少しずつ移り変わってきていて、博物館の屋外展示でも変化が感じ取れます。残念ながら新型コロナウイルス感染症の勢いは止まらず、いまだイベント開催はできない状態が続いていますが、この間に、これまでのイベントのバージョンアップや新しいイベントのアイデアを考えていきたいですね。

【活動報告】

なし

【活動予定】

博物館でのイベント開催が可能になってから活動します。詳しい状況はメールで問い合わせください。

ディスカバリールームで「こんな楽しいことしたい！」などアイデア・提案があれば、お気軽に妹尾・大槻まで声をかけてください。いつでもお待ちしております！

新しいメンバーも大募集中です。一緒に楽しい発見(ディスカバ)してみましょう！



(11) 里山の会

【活動報告日の活動会員数 5名】

グループ代表アドレス: hashi-satoyama@biwahaku.jp

グループ担当職員: 山本 綾美

【活動報告】

■ 6月26日(土)はしかけの森整備作業 参加者5人

朝10時里山フィールドに集合したのは5人でした。鎌、ハサミ等の刃物をもって人力草刈りにはちょうどいい人数間隔でした。午前中だけ体を動かし、昼お弁当タイム、楽しくおしゃべりして、午後少しだけ入り口のまわりをさっぱりさせて終わりました。

反省点⇒もっと早く集まると朝の涼しいときに動ける!次は早めにしよう。

体験教室以外でのフィールド、のんびりしてよかったねーまた行こう🌿

もう10年近くになるでしょうか…ドングリの苗を植えはじめたのは。はじめはなかなか大きくならなくて、草刈りのとき苗も伐ってしまったり、活動に夢中でふんづけてしまったりしましたが、苗を植え続けました。

今では2m以上になったのもあり、毎年フィールドに行くのが楽しみです!!(柳原)

【活動予定】

■ 8月10日ハンモック虫干し



(12) 植物観察の会

【活動報告日の活動会員数(のべ) 14名】

グループ代表アドレス: hashi-shoku-kan@biwahaku.jp

グループ担当職員: 芦谷 美奈子

万緑の季節となりました。

しかし、梅雨の終わりに豪雨の地域も多々あり、気候変動の恐ろしさを痛感します。被害に遭われた方々へお見舞い申し上げます。これ以上ひどくならないよう、祈るばかりです。

【活動報告】

6月7日(日) お出かけ観察「みなくち子どもの森」 参加者4人

活動自粛が明け、3密を避けるためもあって、外部での観察。暑さの心配をしましたが、強すぎるくらいの風があり、ちょうど日陰は涼しく過ごせました。

「みなくち子どもの森」は、再開に向けてきれいに草刈りがしていただいてあり、小さなものやカンサイタンポポは見られませんでしたが、ササユリ(元々あるもの、植栽で守っているもの)が、少しずつ咲き始めていました。花が無くても、葉をみたり触ったりと、植物観察の会のメンバーと一緒に歩くと、間違いなく楽しい!ことも再認識しました。

エゴツルクビオトシブミ(植物ではなく甲虫)、ロクアイタンポポ、ソヨゴの雄花、雌花(雌雄異株)、ブタナ、イタチハギ、ヘビイチゴとオヘビイチゴ、ノイバラ、ニワゼキショウ、マテバシイやツクバネガシの昨年の実・今年の実、

キツネノボタン、オオカワジシャ、ノアザミ、ヤブタバコの花と種子、ムラサキニガナ（早くも蕾が立ち上がってき
ていました、開花は7月ごろ）、ヤマハゼ・ヌルデ・ヤマウルシの花は終わって結実し始め、チドメグサ（オオチドメ）
の花などなどを見ました。

最後は、コブシについていたアカスジキンカメムシ、水面に広がるイチョウウキゴケを見て、大満足して終了、解散
でした。

7月5日（日） 博物館周辺の観察 参加者10人

博物館の周りを歩きながら、季節のものを観察。持ち帰っての分解や詳しい調べ活動は「なし」です。また、暑さや
天候の関係で、午前10時からの活動に変更しました。

集合時刻までに早く集まったメンバーは、駐車場で図鑑を広げてコモチナデシコとイヌコモチナデシコの違いを調べ
たり、イヌコモチナデシコはミチバナナデシコと同じ？等の情報を聞いたりして自主観察。 周りに植物があると、止
まっていられないだけかもしれません。

しかし、参加予定のメンバーが集合していざ移動を始めると見たいものが沢山あり、歩みはいつも通り進みません。
交差点を渡り、ハス畑の満開のハスの花を見てから湖岸へたどり着くのに、約2時間。 その後、湖岸の植物を見て、
駐車場まで1時間掛けて帰り着き、終了、解散でした。 眼の粘膜の関係でルーペも貸し借りが阻まれていることもあ
り、接写で拡大できるデジタルカメラの便利さがとても有り難かったです。
1つのものをみんなで見て、共有することの楽しさが、この会の楽しみです。

この日、見たものは、コモチナデシコのなかま、ヒナギキョウ、ワルナスビ、ヒメジョオン（あっかんべー遊び）、ノ
ブドウ、エビズル（雄花のみ）、ナンキンハゼ（雄花、雌花）、ハス（栽培）、コゴメバオトギリ、アカバナユウゲショウ、
オッタチカタバミ（種子の弾け飛ばし仕組みの情報）、ムラサキシジミ（蝶）、オオバナミズキンバイ、ゴキヅルの葉の形
（花、実は10月頃）、コヒルガオ、ニワゼキショウのなかま（後日、メンバーからセッカニワゼキショウとの報告でし
た）、アレチハナガサとヤナギハナガサなどでした。

【活動予定】

- 月に1回、**第1日曜日の午後**を予定しています。 遠出の場合は、これに限らず、変則的になります。
外部で行う観察会は、年に数回、みなさんにも呼びかけを行う予定（しばらくは、密を避けるためにも行いません）
です。このニューズレターを見て、直接現地へお越してください。基本的には、危険が無く雨でも歩ける所で、大雨
や警報が出ない限り「行う」方向でいます。
- 8月 中止（室内活動自粛のため）
- 9月5日（土） お出かけ観察「水草観察③」（博物館行事に参加、カワセミの会共催）
場所：長浜市海老江港付近 時間は調整中
- 10月 未定

※10月以降の計画は、8月にメール等で相談し、決めます。

この活動に興味のある方は、メール（上記メールアドレス）にてご連絡ください（^o^）/
当日、直接、実習室や現地へ来ていただいても結構です。



(13) たんさいぼうの会

【活動報告日の活動会員数(のべ) 21名】

グループ代表アドレス: hashi-keisou@biwahaku.jp

グループ担当職員 大塚 泰介(影の会長)

【活動報告】

たんさいぼうの会第63回総会を、7月4日（土）14時から、琵琶湖博物館研究交流室で行いました。ところが日程
調整がうまくいかず、また体調不良などで出席できなくなった会員もいたため、結局、出席2名+zoom参加1名のみと
いう、過去もっとも小規模な総会になりました。

【活動予定】

集まらなくてもできる活動を、それぞれに進めていきます。藤ヶ鳴湿原（岡山市）および瀬田公園湿地（大津市）の
珪藻については、研究発表ができる段階まで来ています。個人研究では、藤前干潟（名古屋市）の珪藻植生研究が査読
意見を受けて修正中であるほか、メダカの水槽に出現した珪藻の研究も研究発表ができる段階まで来ています。こうし
た研究については、学会開催の目途が立たないため、研究がまとまってきたらそのまま論文を書いてしまう方針にして
います。ところが6月以降、通勤・通学が再開されたこともあって皆忙しく、体調を崩す会員も続出し、研究は5月末

の時点からわずかしか進んでいません。

他にも、古琵琶湖層群蒲生層の古環境の研究、古琵琶湖層群甲賀層の化石珪藻の研究、愛知県の鈹質土壌湿地群の珪藻植生研究、曾根沼・野田沼（彦根市）の珪藻植生研究などを進めています。



(14) 田んぼの生きもの調査グループ 【活動報告日の活動会員数(のべ) 12名】

グループ代表アドレス: hashi-tambo@biwahaku.jp

グループ担当職員: 鈴木 隆仁

新型コロナウイルス感染症の流行が徐々に収まってきたことをうけて、5月下旬より石井、山川の2名が個人調査を再開しています。本年度は、宅地開発の進行で生息域が徐々に狭まりつつある大津市の南部地区において、2種類のカブトエビの生息が記録されている筆を複数回調査し、それらの勢力の消長の要因を探ることを試みました。小学校の休校期間と重なっていた5月下旬は、田んぼの生きものを探す子供達の姿が多く見られたのが印象的でした。

山川の自宅では、トゲカイエビが金魚と仲良く遊泳しています。3週間ほどその姿を楽しむことができました。



【活動報告】

- ・大津市南部のカブトエビ類調査
 - *石山寺三・四丁目と赤尾町 :
5月26, 30日, 6月6日の3回にわたり、それぞれ26筆を調査しました。
 - *大江四・五丁目と月輪三丁目:
5月30日, 6月4, 9, 16日の4回にわたり、それぞれ14筆を調査しました。
- ・広域調査
 - *守山市木浜町の循環灌漑実施地域 : 5月22日に22筆を調査しました。
 - *栗東市, 湖南市, 甲賀市(甲賀町) : 5月23日に60筆を調査しました。
- ・個別調査
5月28日に山川が大津市で、6月1日に石井が湖南市と栗東市で調査を行いました。

【活動予定】

- ・上記調査で採集したサンプルの同定を行う必要があります。会員の皆様にも協力をお願いしたいので、日程が決まりましたらメールで連絡いたします。

(山川 栄樹)



(15) たんぽぽ調査はしかけ 【活動報告日の活動会員数(のべ) 1名】

グループ代表アドレス: hashi-tanpopo@biwahaku.jp

グループ担当職員: 芦谷 美奈子

<「たんぽぽ調査・西日本2020」実施中>

「たんぽぽ調査はしかけ」は、「たんぽぽ調査・西日本2015」というたんぽぽの参加型広域調査に協力しながらたんぽぽについて学ぶことを目的にしているグループです。5年に1度2年にわたって実施される広域調査ですが、ついに来る3月から「たんぽぽ調査・西日本2020」の調査が始まり、2020年に本調査を実施し5月31日に調査期間が終了しました。

<「たんぽぽ調査・西日本2020」の調査期間を延長予定>

今回の新型コロナウイルスの感染防止対策として、すべての参加府県で、広く参加を呼びかけるイベントや行事が中止になっているため、本調査事務局では調査日を2021年まで延長して実施することを決めました。実際には府県ごとに方針を決めることとなりますが、滋賀県では2019年、2020年の結果を検討して、2021年には調査データの少ない地域や種類(雑種のたんぽぽがデータに上がりにくい)を補足的に調査する予定にしています。

【活動報告】

なし。

【活動予定】

現時点で決まっている行事はなし。

**(16) ちこあそ****【活動報告日の活動会員数(のべ) 4名】**

グループ代表アドレス: hashi-chikoaso@biwahaku.jp

グループ担当職員: 大久保 実香・中村 久美子

【活動報告】

◆コロナ対策をして活動を行いました。

◆6月の活動

- 生活実験工房の畑で、野菜苗を植えました。
ちこあそメンバーで、サツマイモ、プチトマト、カボチャ、キュウリ、アマトウガラシ、落花生の苗を植えつけを行いました。コロナ感染防止から現在はなかなかみんなで食卓を囲むことはできませんが、野菜が実る頃に、みんなで美味しく食べられることを祈っています。
- 久しぶりのちこあそ活動を行いました。
6/17の活動は、これまでの1日の活動ではなく、午前と午後に分けての活動となりました。年度も変わったこともあり、午前1組、午後1組という参加でしたが、久しぶりのお外遊びを十分に楽しんでくださりました。

◆7月の活動

7/15の活動は、午前1組、午後3組の参加でした。長い梅雨が続きますが、ちょうど合間の晴れ間となり、田んぼのオタマジャクシをすくったり、鳴き声をするカエルを探したり、トンボを追いかけたり、そしてガチャコンポンプで水を出したりと、梅雨の自然でたくさん遊ぶことができました。

メンバー会議を行い、学年が変わり参加が少なくなりましたので、広報を行い、また夏のちこあそを実施することを検討しました。

※ちこあそは、生活実験工房周辺の展示空間の自然で活動しており、屋外活動ですので、感染のリスクは低いのですが、幼児が密接になり遊ぶことは避けられません。三密を避け、また社会的な理解を得ながら活動できるように実施しています。

WEBで、活動の様子や次回のチラシを掲載しています。http://blog.goo.ne.jp/eco-macha をご覧ください。



6/2 野菜苗の植え付け



6/17 水路で生き物探し



7/15 ハマキガの葉巻を開いてみると・・・

【活動予定】

活動月	実施日、時間	タイトル	内容
8月	8月26日(水)	ちこあそ 夏の特別版	いつもは夏はお休みでしたが、夏休みの活動のリクエストもあり、実施予定です。午前5組、午後5組の限定です。
9月	9月16日(水) 10:00-14:00	ちこあそ9月	※毎月おおよそ第3水曜日に行っています。 コロナ禍のため実施についてはその都度判断します。 ループでの自然観察、森の探検、工房の食体験など やさしい自然遊びを子どもや保護者の方とゆっくり、ポチポチ過ごします。

新しいメンバーも飛び入りも大募集中です。一緒に子ども達と遊びましょう！



(17) 琵琶湖の小さな生き物を観察する会 【活動報告日の活動会員数(のべ) 14名】

グループ代表アドレス: hashi-bck@biwahaku.jp

グループ担当職員: 大塚 泰介

【活動報告】

■ 6月20日(土) (参加者8名+学芸員2名)

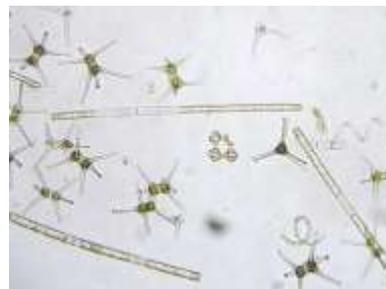
久しぶりの活動でしたが8人の会員が集まりプランクトン観察を楽しみました。今回の活動では84種類ものプランクトンが見つかりました。琵琶湖のプランクトンの多様さに驚くと共に、それを見つけて見分けることのできる参加メンバーにも驚かされました。新型コロナウイルス対策で普段より短い活動時間でしたが充実した活動になりました。



採集の様子



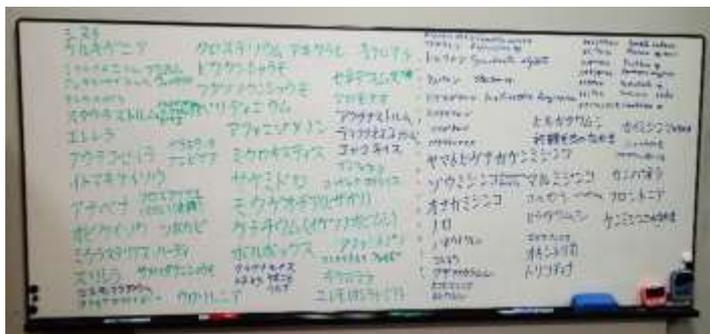
顕微鏡観察中



プランクトンの様子



液晶モニターを使っでの観察



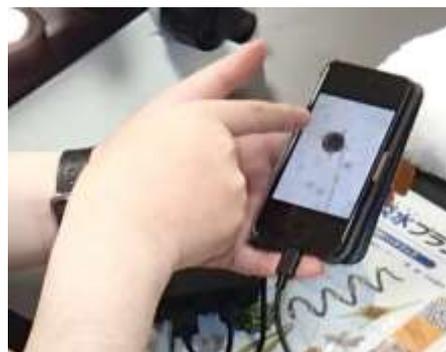
見つかったプランクトンをホワイトボードに書き出しました

■ 7月18日(土) (参加者6名+学芸員1名)

博物館でプランクトン観察を行いました。動物プランクトンはオナガミジンコや *Bosmina fatalis* が発生しており夏らしさを感じました。みなさんスマホやカメラを使ってプランクトン撮影を楽しんでいました。



前日まで雨の予報でしたが幸い採集中には降りませんでした。



スマホで撮影されたツボカムリの仲間

【活動予定】

琵琶湖の小さな生き物を観察する会では月に1回、観察会を行っています。見学・参加希望の方はグループ代表アドレスまでお問い合わせください。



(18) びわたん

【活動報告日の活動会員数(のべ) 1名】

グループ代表アドレス: hashi-biwatan@biwahaku.jp

グループ担当職員: 由良 嘉基・奥野 知之

【活動報告】

■ 6月13日(土) 「プランクトンを見よう!」中止

琵琶湖博物館が休館のため、6月わくわく探検隊のイベントは中止になりました。

琵琶湖博物館ホームページで紹介されている「おうちミュージアム」に、わくわく探検隊のイベント『おさかなモビールをつくろう!』が掲載中! 是非、おうちでおさかなモビールを作ってみてください。

7月中には、次回わくわくたんに向けての打ち合わせを行う予定です。

【活動予定】

■ 9月12日(土)

「船 de アート!」



(19) ほねほねくらぶ

【活動報告日の活動会員数(のべ) 12名】

グループ代表アドレス: hashi-hone-hone@biwahaku.jp

グループ担当職員: 中川 信次

【活動報告】

■6月13日(土) 参加者2名、見学者1名

イタチの徐肉、ネコの資料収集を行いました。

約3か月ぶりの活動の再開となった今回、活動時間の短縮や感染症対策を行うなど、以前とは違った活動形態となりましたが、久しぶりに活動する事が出来て、メンバーの方達とも顔を合わせる事が出来、少しだけ日常を取り戻せたようで嬉しくなりました。

今後も十分に注意しながら活動を続けていければと思います。

■6月21日(日) 参加者2名

イタチの徐肉、フナの組み立てを行いました。

■6月27日(土) 参加者2名

イタチの徐肉を行いました。

そろそろ気温も高い季節に入ってきたので、どんどんと標本を作っていきたいところですが、今年は休止期間などもあり、水浸けして腐敗させる工程に進めるものが少なめになっているので、これからの活動で取り戻したいところです。

■7月5日(日) 参加者3名

ネコの皮剥ぎ、イタチの徐肉、フナの組み立てを行いました。

■7月18日(土) 参加者3名、見学者1名

ネコの皮剥ぎ、アナグマの計測、ハクビシンの骨の整理を行いました。



▲7/18の活動時に計測したアナグマです

【活動予定】

8月、9月の詳しい活動日は現在未定ですが、月に3回程度、土曜日・日曜日に活動を予定しております。



(20) 緑のくすり箱

【活動報告日の活動会員数(のべ) 26名】

グループ代表アドレス: hashi-midori-k@biwahaku.jp

グループ担当職員: 大槻 達郎

【活動報告】

■6月7日(日) 10:00~12:00 場所: 生活実験工房 参加者: 8名

活動内容: 総会

琵琶湖博物館が再び開館し、緑のくすり箱の活動のほうもやっと再開できるようになりました。

今年の活動は、新型コロナウイルス感染予防の関係で、いろいろ制限をかけないといけない点があり、そのことについて総会で確認しました。また年度計画のほうも見直しました。

<今年度の活動計画>

活動日	時間	内容	活動場所	担当
5月20日	10時~12時	芳香植物の蒸留 アロマウォーターを作ろう①	生活実験工房	吉野ま
6月7日 (日)	10時~15時	総会と植物観察会	生活実験工房	全員
6月28日 (日)	10時	水生植物公園みずの森 観察会	みずの森集合	特になし
7月1日 (水)	10時~12時	芳香植物の蒸留 アロマウォーターを作ろう②	生活実験工房	吉野ま
9月6日 (日)	10時~15時	草木染め M&P ソープ作り	実習室2	深田・柳原・ 元廣
9月9日 (水)	10時~12時	芳香植物の蒸留 アロマウォーターを作ろう③	生活実験工房	未定
10月		館外活動(植物園などの観察会)	未定	未定
11月		こんにやく湿布	未定	山本 (加藤)
12月2日 (水)	10時~12時	芳香植物の蒸留 アロマウォーターを作ろう④	生活実験工房	吉野ま
12月		しめ縄作り	未定	吉野ま 吉野千
1月		廃油石鹸作り	未定	山本・大羽・ (堀田)
2月		木のスプーン作り	未定	久国
3月		年度末総会	未定	未定

(今年度の活動について)

- ・今年度は、例年行っている薬草ピザ作りや七草粥など、飲食が伴う活動は禁止。
- ・7月の芳香植物の蒸留については、中止。9月、12月も一般の参加者を呼ばない可能性あり。
- ・びわ博フェスも中止の方向。もし開催されるのであれば、こんにやく湿布体験を実施。
- ・12月のしめ縄作り、2月の木のスプーン作りについては、生活実験工房の中川さんに講師を依頼。
- ・10月の館外活動は、県内でどこかお出かけする場所を検討する。薬草園やハーブガーデン、養蜂場など、行きたい場所についてご意見を出してほしい。

■6月7日(日) 13:00~15:00 場所: 琵琶湖博物館周辺 参加者: 9名

活動内容: 博物館周辺の植物観察会

総会が終わり、午後からは琵琶湖博物館周辺の植物観察会を開催しました。琵琶湖博物館の方に講師としてきていただき、歩きながら植物を紹介していただきました。緑のくすり箱のメンバーは植物の香りや薬効に興味がある方が多いので、そういった植物のお話もしていただき、大変興味深い植物観察会となりました。

(観察した植物)

- ・ハゼノキ (ウルシ科)
- ・カイノキ (ウルシ科) …ピスタチオの仲間
- ・ナラガシワ (ブナ科) …柏餅に使うカシワは葉の裏に毛があり、餅をくるんだときにくっつかない。
ナラガシワは葉の裏に毛がない。
- ・センダン (センダン科)
- ・キササゲ (ノウゼンカズラ科) …雷除けになると信じられてきた。
- ・トチュウ (トチュウ科) …杜仲茶の原料・ゴムに似た成分を含むため、葉をちぎると糸を引く。
- ・カラムシ (イラクサ科) …葉の裏が白色
- ・クサイチゴ (バラ科) …食べられる
- ・ヤブニッケイ (クスノキ科)
- ・モチノキ (モチノキ科) …樹脂にとりもちの成分を含む
- ・ネズミモチ (モクセイ科)
- ・クサギ (クマツヅラ科) …若菜は茹でて食べることができる。実を衣類の染色に使うことができる。
- ・イグサ (イグサ科) …トウシンソウとも。畳の材料。
- ・クズ (マメ科)
- ・ニホンハッカ (シソ科) …花は茎の下の方の葉腋までつく。
- ・セイヨウハッカ (シソ科) …花は茎の上の方の葉腋までつく。
- ・コモチマンネングサ (ベンケイソウ科) …ムカゴで増える。
- ・セイヨウヒキヨモギ (ハマウツボ科) …半寄生植物
- ・ヤセウツボ (ハマウツボ科) …寄生植物
- ・ウキクサ (サトイモ科)
- ・グミ (グミ科) …アキグミをお茶にしたりすること。
- ・スイカズラ (スイカズラ科) …甘い香り
- ・ペニーロイヤルミント (シソ科) …別名メグサハッカ。カクテルの香り付けに使用されるが、妊娠中の摂取は控えたほうがよいとのこと。
- ・ツボクサ (セリ科) …別名ゴツゴラ。煎じて食べる。野菜として食べる地域もあるとのこと。



■6月28日(日) 10:00~12:00 場所:草津市立水生植物園みずの森 参加者:9名

活動内容:みずの森の観察会

今年の活動では、館外活動をしていこうということで、琵琶湖博物館の隣にある、水生植物園へ出かけました。ちょうどスイレンと蓮の花が見ごろで、とてもきれいでした。クイズラリーが開催されていたので、スイレンの香りの違いや、植物の科名、その他の知識など、楽しく学びながら、観察することが出来ました。

(参加者の感想)

- ・みずの森は美しい公園でとても気持ち良かったです。また植物好きの皆さんと回る植物園は、話もふくらみ楽しかったです。
- ・綺麗な花々に癒され、ゆっくり時間を楽しみました。ハスアイスも美味しかったです。ハスの実の効能を調べたら、女性に嬉しい成分でうれしく思いました。



【活動予定】

9月6日(日) 草木染め、M&P ソープ作り



(21) 虫架け

【活動報告日の活動会員数(のべ) 11名】

グループ代表アドレス: hashi-mushikake@biwahaku.jp

グループ担当職員: 八尋 克郎

【活動報告】

■6月21日(日) 18時~22時30分 ライトトラップ

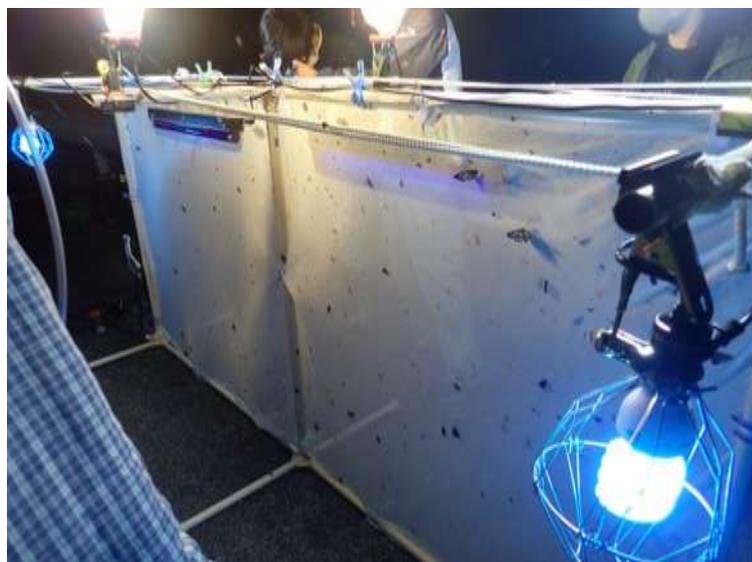
大津市にて

参加者: 11名

新型コロナウイルス対策として、マスク着用・社会的距離の確保などを行いながら活動しました。

梅雨の季節としては天候に恵まれましたが、やや気温が低め(22℃ほど)だったせいか虫は前年よりも少な目でした。

特に甲虫類は少なかったようです。蛾や水生昆虫はある程度飛来しました。



【活動予定】

新型コロナウイルスの影響で予定が不透明ですが、可能であれば1か月に1回程度の野外調査や室内勉強会をしたいと考えています。

山間部などで昼夜問わず観察・採集などをして、滋賀県内の分布調査をしています。

※都合により、新規会員の募集は当面見合わせております。(文責: 梶田)



【活動報告】

■琵琶湖博物館周辺の観察会 6月13日(土) 10:00~12:00

集合場所: 職員駐車場 参加者:(会員)0名 → 雨天のため中止した。

■琵琶湖博物館周辺の観察会 6月27日(土) 10:00~13:00

集合場所: 職員駐車場 参加者:(会員)5名

内容: 琵琶湖博物館周辺の動植物ガイドブックの作成準備のため職員駐車場の湖岸道路側→烏丸記念公園→博物館東南～東の草地→琵琶湖岸→博物館北入りロ→樹冠トレイルのルートで動植物を見ながら散策した。この季節の草地や湖岸は多くの植物が花や実をつけていてなかなか進まず、最後の樹冠トレイルでは時間が取れず、気が付けば予定時間を1時間もオーバーしてしまった。

見られた主な動植物



左からコモチナデシコ類、コゴメバオトギリ、アカバナユウゲショウ、ヒナギキョウ、ハナハマセンブリ



左からヒメジョオン、シロバナマンテマ、トキワハゼ、アカツメクサ、ヤナギハナガサ



左からハルシャギク、アカカタバミ、ネムノキ、ネジバナ、オオマルバノホロシ



左からシロネ、ナガエツルノゲイトウ、オオバナミズキンバイ、ホソバツルノゲイトウ、コヒルガオ



左からメリケンムグラ、ブタナ、ナンキンハゼ、ヤブミョウガ、



左からベニシジミ、コムラサキ

■外部観察会 7月11日(土) 10:00~12:30

集合場所：瀬田公園駐車場 参加者：(会員) 0名

内容：外部観察会(大津市一里山の瀬田公園) → 雨天のため中止した。

【活動予定】

■日時：7月25日(土) 10:00~12:30頃

集合場所： 帰帆島公園駐車場

内容：外部観察会(帰帆島周辺)

■日時：8月8日(土) 10:00~12:30頃

集合場所： 瀬田公園駐車場

内容：外部観察会(大津市一里山の瀬田公園) (7月11日に中止した内容)

■日時：8月22日(土) 検討中

★森が好きな人、植物や昆虫など生き物が好きな人、専門知識は不要です。はしかけ“森人”に参加しませんか

★参加を希望される方は 森人(もりひと) hashi-morihito@biwahaku.jp に連絡ください。



(23) 琵琶湖梁山泊

【活動報告日の活動会員数(のべ) 一名】

グループ代表アドレス： hashi-ryozanpaku@biwahaku.jp

グループ担当職員：中井 克樹

【活動報告】 活動はお休みしています。

【活動予定】 未定です。



(24) サロン de 湖流

【活動報告日の活動会員数(のべ) 10名】

グループ代表アドレス： hashi-salondekoryu@biwahaku.jp

グループ担当職員：戸田 孝

【活動報告】

■ 5月10日(日)午後 トローリングと同時に水温観測

場所：安曇川河口沖琵琶湖上

参加者：1名(はしかけ1名)

■ 5月13日(水)午後 トローリングと同時に水温観測

場所:安曇川河口沖琵琶湖上

参加者:1名(はしかけ1名)

■ 6月17日(水)午後 トローリングと同時に水温観測、GPSを利用した流速測定の実行

場所:安曇川河口沖琵琶湖上

参加者:1名(はしかけ1名)

■ 6月20日(土)13:30~ 流れの観測および地形模型作りについての議論

場所:琵琶湖博物館 実習室1

参加者:5名(はしかけ4名 学芸員1名)

- ・立命館大学 Wells 教授のシミュレーションに基づくナウキャストの結果に合わせて2019年5月10日と13日に船を出したところ、それに見合う流れが見られ、釣果との相関らしきものも見られたことが報告された。
- ・釣の仕掛けの動きからGPSで計測した船速を元に魚がいる層の流速を知る方法について議論した。「測定技術論」として研究成果にできるのではないかという意見が出た。
- ・安曇川沖水中島の地形模型作りについて、湖沼図のコピーを切り抜いてみる作業を試しに行き作業量を見積もり、何を目標にどのような材料で作ってみるかを議論した。

■ 6月21日(日)午後 トローリングと同時に水温観測、GPSを利用した流速測定の実行

場所:安曇川河口沖琵琶湖上

参加者:1名(はしかけ1名)

■ 7月11日(土)13:30~ 水中島立体模型作り

場所:琵琶湖博物館 実習室1

参加者:3名(はしかけ2名 学芸員1名)

- ・博物館にあった「不要な展示パネル」と「展示パネル製作の端切れ」を使って地形模型を作ってみた。水中島の長軸長が10cm程度、縦横比5倍強調の模型が、実質作業員2名で1時間弱で完成した。作業経緯を踏まえて、今後どのような模型製作を目指すか議論した。
- ・湖上観測中に明瞭に「潮目」が見えるという話題から、水塊ごとにプランクトン組成が違うのではないかという話になり、偶々出勤していたプランクトン担当の鈴木学芸員に来てもらって相談した結果、当面の使用予定が無い曳船用(=手曳き用ではない)のプランクトンネットを貸していただけることになった。



【活動予定】

当面は原則として毎月第二土曜の午後に会合を持つことにします。



(25) 水と暮らし研究会

【活動報告日の活動会員数(のべ) 6名】

グループ代表アドレス: hashi-mizu-kurashi@biwahaku.jp

グループ担当職員: 楊 平

【活動報告】

■ 2020. 6. 11(木) 9:00-14:00 天候:小雨 参加者:6名

- ①活動場所:草津、守山、野洲、近江八幡、竜王町
- ②調査目的:新型コロナウイルス感染騒動での活動中断後の再開第一回。「水と暮らし」にまつわる正月行事である湖東・湖南地域の注連縄、勧請吊の継続的現地調査を行った。
- ③調査場所詳細:調査に際し事前に地域神社等の「注連縄」「勧請吊り」の情報を収集。全員で現地を訪問。近隣住民との生の情報も含め、聴取した。

A. 老杉(おいすぎ)神社：草津市下笠

5月の例祭は日本遺産「琵琶湖とその水辺景観祈りと暮らしの水遺産」に認定されたサンヤレ踊りが奉納される。鳥居に掛けられた勧請縄は完全な蛇縄で、その造形にも目を見張るものがある。まさしく邪気を追い払うがごとき形相の蛇頭がにらみを利かしているように見える。蛇頭は通常の年には十二尋、閏年には十三尋の長さに編み上げられている。蛇頭には4個所に割り、竹で環を作りそれぞれに榊の小枝が付け下げられている。→残念ながら当日は取り除かれていたので事前調査時の写真を掲載する。



●老杉神社勧請吊り

B. 芦浦観音寺：草津市芦浦（今回はついでの訪問となった。）

寺伝によると、聖徳太子開基、秦河勝創建の名刹。草津市北部、東は中山道の守山宿、西は志那港に出る水陸両交通の要衝に立地。応永15年(1408)に勧雅が天台宗寺院として中興し、現在まで法燈をつないでいる。平成30年には日本遺産「琵琶湖のその周辺の水辺景観」に認定されている。

C. 大將軍神社：守山市古高

正暦年間(990～995)の創祀と伝わる鳥居をくぐり抜けて拝殿に向かう途中にある六脚門の梁に勧請吊りが掛けられている。偶然、自治会長より事情聴取できた。注連縄は年末に取り換えられるが、勧請吊りは1月末の酉の日から作り始めて2月1日のカミさん送りの日に付け替えられる。六脚門に13個(通年は12個だが今年のような閏年は13個)と鳥居の柱・本殿脇の左右に各1個(計4個)、さらに近隣の円成寺門前に2個合わせて19個を飾り付けている。六脚門の飾りの中央には「月を表す」直径50cm程度の蔓と竹で出来たリース状の飾りも取り付けるとのこと。



●大將軍神社勧請吊り

D. 三之宮(さんのみや)神社：野洲市六条

近くの五条地区にある兵主神社の境外摂社で高光照姫命(正妃 正妻)と下光照姫命(添妃 妾)を祀っていることから三之宮と呼ばれている。鳥居の前にお住いの人より事業聴取できた。神事(じんじ)と呼ばれる会合が毎年11月23日頃から自治会館にて開かれ、作業が始まる。この中のモチ藁(地区で栽培されている人が決まっている)でお飾りを作り、12月から飾り始める。この地区は近くを旧野洲川北流域で、氾濫被害が絶えなく、勧請吊りのメインの形は、「川魚の姿」を表している。水が溢れることがなく、魚も無事に上流に戻れますようにと念じたものといわれている。飾りの真ん中にある丸い竹かご状のものは日の出を表している。通年飾り続けるので朽ちないように最近では本殿に向かい右の檜と左の樺の間にワイヤ線を張って強化された。境内の脇社にも同じような飾り物が1個ずつ掛けられている。



●三ノ宮神社勧請吊り 1



●三ノ宮神社勧請吊り 2

E. 苗田神社(なえた神社)：野洲市須原

兵主神社の末社のひとつで稲田姫命が御祭神。こちらの勧請吊りのお飾りは鳥居の右隣 道路との境界にある高さ2m程度のアルミ製ポールに掛けられている。飾りは中央に杉の葉と竹かご製の丸型リースと、その左右に縄で編まれた飾りが左右に3個ずつ計6個掛けられている。おそらく昔は参道正面近くに飾られていたものを移動して飾られるようになったものと推測される。

F. 諏訪神社：近江八幡市小船木

元は信濃の諏訪の神を勧請したことが鎮座のはじめと伝わる神社。勧請吊りは、正面参道の鳥居ではなく右手奥境内の境界にある新しいコンクリート製の柱に飾られている。中央の丸型リース飾りは上部に雨を凌ぐのか、藁屋根風飾りが付けられており、杉の葉と×型の竹材で出来ている。右手に6個左手に7個の杉の葉と榊の葉を一緒に束ねた藁縄が吊るされていた。拝殿前の左手に相当以前に落雷か強風で上部が折れたものの幹の根元近くの外皮部分だけで枝を残している根性木があった。空洞になった幹の芯から、新たに芽を出した枝も元気に伸びていた。(まさしく、これなんじゃ?と思わせるご神木である)



●諏訪神社ご神木



●諏訪神社勧請吊り

G. 石部神社：竜王町七里

正応2年(1289年)から天照皇大神を祀る神社。旧七里地区から竜王インター・竜王アウトレットへの交通量の多い道路を隔てた山側に鳥居があり、ここに勧請吊りが13個飾られていた。参道も境内もゴミ一つなく掃き清められており、普段から地区の方々の信仰と管理が行き届いているようである。境内の静寂感も心地よい。



●石部神社勧請吊り



●石部神社境内

④今後の対応として

「水とくらしの研究会」として新春を彩る「注連縄・勧請吊り」は面々と続く古人からの自然への畏怖への表れの行事であり、特に日本の中で湖東・湖南地方に多くみられることが興味を引く。ニュースレターなどで一部を披露しているが、県下で160か所程度あるといわれる「勧請吊り」の実態をまとめておきたいと思料している次第である。

(本稿の執筆者：小篠)

【活動予定】

8月は活動休止。

9月の活動は未定です(8月中に計画立案予定)。



(26) 海浜植物守りたい

【活動報告日の活動会員数(のべ) 13名】

グループ代表アドレス: hashi-kaihin@biwahaku.jp

グループ担当職員: 大槻 達郎

【活動報告】

■観察日 令和2年4月27日(月) 晴れ 気温25℃

令和2年5月12日(火) 曇り 気温27℃

参加者 ・松村 津田 計2名

*自肅令の中二人で浜観察に出かけた。4月27日は浜のチガヤや月見草等の除去をした。

*浜にはヨットをする若者の姿と、鷺の巣作りが見られた。

*5月12日は一斉に芽吹くハマゴウ、所々に咲くハマヒルガオが見られた

*ハマエンドウの葉は緑が濃くあちこちに花が見られた。チガヤも目立ち始めた。

4月27日 新海浜	 琵琶湖	 ハマエンドウ	 ハマヒルガオ	 ハマゴウ	 ハマヒルガオ
5月12日 新開浜	 同上	 同上	 ハマゴウ	 同上	 同上

■観察日 令和2年5月22日(金) 曇り 気温25℃ 時間 10:00~16:00

参加者 ・松村 津田 計2名

新海浜では浜の除草と観察を実施・佐波江浜とマイアミ浜で浜観察をした。

①新海浜

- ・ヨット遊びをする若者がいた。
- ・ハマエンドウの花は少なくなり種がついていた。
- ・ハマゴウの葉が大きくなり枝いっぱいにつけているが花芽はまだない。
- ・ハマヒルガオは浜いっぱい広がって花を全面に咲かせている。
- ・アメリカネナシガズラはまだ見当たらない。

②佐波江浜

- ・浜は木のクズやごみが打ちあがりニセアカシアがあちこちで大きくなっている。全体的に荒れている。
- ・水際の一部のハマヒルガオは緑が濃く葉も大きい。
(4月中頃の強風による浜欠で露出した地下茎から出た葉だろうか？花はまだ咲いていない。)
浜の中央辺りは花が咲いているが、葉も小さく色も薄い。
- ・ハマゴウの保護柵内はチガヤや雑草が茂り、ハマゴウは枝を伸ばしてはいるが、よく見ないとわからない。
枝を伸ばしてはいるが葉の付きも悪く弱弱しい。
- ・タチスズシロソウは、あちこちに花を咲かせているものもあるが実をつけているものもある。

③マイアミランド

- ・浜は木のクズやヨシが打ち上げられている。
- ・テニスコートの奥に以前あったハマヒルガオは草刈りがされており見当たらない。
- ・メドハギがあちこちに広がっている。
- ・タチスズシロソウは数は少ないがあちこちに咲いていた。種をつけている。
- ・ハマヒルガオは少ししか見当たらない。
- ・ハマゴウは保護柵の中で昨年と変わらず枝を伸ばし葉が広がっていた。

① 新 海 浜	 浜の様子	 ハマヒルガオ	 ハマゴウ	 ハマエンドウ	 ハマエンドウ 花の後	 ハマエンドウ 種ができている
② 佐 波 江 浜	 同上	 同上	 同上	 タチスズシロソウ	 タチスズシロソウ	 タチスズシロソウ
③ マ イ ア ミ ラ ン ド	 同上	 同上	 同上			

■観察日 令和2年6月2日(火) 9時00分～11時00分 晴れ 気温23℃

参加者：阿部・清田、小西・松村・津田 計5名

琵琶湖は穏やかで暑いぐらいの作業日。自肅がとけて久しぶりに宇野さんと会うことが出来た。元気そうだ。まず、ミーティング。最近では宇野さん一人が活動されている。自治会の事務局を今年からされて忙しいそうだ。今回はミーティングだけ参加。浜観察から開始。(ネナシカズラ発見・駆除)

活動内容

- *保護区内のコマツヨイグサ、メマツヨイグサ、チガヤ等の除去
- *ネナシカズラ駆除(一か所)

海浜植物観察状況

- *ハマエンドウ
 - ・花は終わって見当たらず。種は付いてはいるが深さなければわからないほど少ない。葉は枯れかけている。
- *ハマゴウ
 - ・活きよよく葉は広がり浜いっばいに枝を広げている。未だ花芽は見当たらない。
- *ハマヒルガオ
 - ・浜いっばいに広がっている。全盛期は過ぎたようで黄色くなった葉が目立つ。
- *ムシトリナデシコ・メリケンムグラが目立つ。(ムシトリナデシコは昨年駆除した成果は出ている。)

 今日の琵琶湖(新海浜)	 ミーティング	 作業前	 作業後	 ハマゴウ
 作業風景	 ハマゴウ	 ハマヒルガオ	 ネナシカズラ出現	 ネナシカズラ駆除

ハマエンドウ
撮るの忘れた

				
メリケンムグラ	フシグロ	ムシトリナデシコ		

■観察日 令和2年6月9日(火) 9時00分~11時20分 晴れ 気温28℃

参加者：阿部・小西・松村・津田 計4名

琵琶湖の水は透明に澄んでおり風のない暑いぐらいの作業日。今日は、対岸の比良や、伊吹山が見えない。

活動内容

- *保護区内の雑草の除去
- *入口から浜に通じる通路の拡張(約幅1m)
- *ネナシカズラ駆除(3か所)この3か所は場所が近い。
 - ①6月2日に駆除したところ?(50cm×1m)
 - ②昨年除去したハマゴウの辺り?(3m×3m)ハサミで切ったような枝がある。
 - ③(2m×2m)

海浜植物観察状況

- *ハマエンドウ
 - ・花は終わって見当たらず。種はついてはいるが探さなければわからないほど少ない。葉は枯れかけている。(種は本当に少ないように思う)
- *ハマゴウ
 - ・活きよよく葉は広がり浜いっぱい枝を広げている。未だ花芽は見当たらない。
- *ハマヒルガオ
 - ・全盛期は過ぎたようで黄色くなった葉が目立つ。花もめっきり減り種をつけている。
- *ムシトリナデシコ・メリケンムグラが目立つ。

				
新海浜全景	保護区内作業後	通路拡張作業後		
				
ハマエンドウの種	ハマヒルガオの種	ハマゴウ種をつけたまま新枝を伸ばしている	浜に散乱バーベキューコンロ?	ハマゴウに巻き付くネナシカズラ

【活動予定】

■6月19日(金)9:00~

3. 生活実験工房からのお知らせ

生活実験工房の田んぼでは、お米を無農薬で育てています。そのため、雑草がとてもよく生えます……。7月は田んぼの草むしりに多くの時間と労力を費やしました。しかしながら、草むしりをしていると、日によって違う種類のトンボがやってきたり、暮れて涼風が気持ちよかったりと、色んな発見もありました。

ただ、現在、生活実験工房周辺は入館制限の影響により進入禁止となっています。このような発見の場を来館者の皆様とも共有できるよう、一刻もはやく新型コロナウイルス感染症が収束することを願ってやみません。

さて、9月、10月には稲刈りを下記の通り予定しています。ぜひ、ご参加くださいませ。

担当係：交流係

【活動予定】

開催時間 10:30～12:30 (受付 10:00～) 場所：生活実験工房
稲刈りについては、各自、長靴、着替え等をご用意ください。

9月 6日(日) 稲刈り、はさ掛け(早稲品種) 先着20名

10月 4日(日) 稲刈り、はさ掛け(晩稲品種) 先着20名



4. その他の事項

(1) メールアドレスとホームページアドレスの変更について

びわ博の情報システム変更にもなっており、メールアドレスとホームページのURLが変更になりました。新しいメールアドレスは「***@biwahaku.jp」、ホームページは「<https://www.biwahaku.jp/>」です。なにか不備がありましたら、事務局までお問い合わせください。

(2) はしかけグループの活動に初めて参加する場合

ニューズレター発行後、活動日・活動場所が変更になる場合があります。グループの活動に初めて参加する時は、事前に各はしかけグループの担当者に確認をお願いします。メールの場合は、グループ代表アドレス(各グループの報告欄に掲載)にご連絡ください。

(3) 名札(会員証)の写真について

名札(会員証)の写真を更新されたい方は、はしかけ制度担当者 hashi-adm@biwahaku.jp まで送って下さい。ただし、必ず本人確認ができるものに限りです。

(4) はしかけ会員証の携帯のお願い

はしかけ活動で来館する場合は、会員証を必ず持参してください。会員証を携帯せずに活動することは、原則的にできません。

(5) はしかけ活動中に事故が起きたら

はしかけ会員は、ボランティア保険に加入する必要があります。加入時に、ボランティア保険加入カードが各自に配布されますので、活動中に事故などが発生した場合には、加入者カードに書いてある連絡先(社会福祉法人 滋賀県社会福祉協議会 TEL: 077-567-3920 FAX: 077-567-3923)へ、速やかに連絡してください(各人で連絡)。

なお、手続きには、グループ担当者(学芸員)の活動証明が必要ですから連絡してください。

詳しくは、最新年度の「ボランティア保険」パンフレットをご覧ください。「ボランティア保険」のパンフレットは、はしかけ事務局(博物館事務学芸室)にも置いています。